



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年8月23日(水)		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
子育て支援課	母子保健係	丹羽 由香里	内線 3532
			直通 058-272-8477
			FAX 058-278-2880
外国人活躍・共生社会推進課	多文化共生係	水野 智裕	内線 2562
			直通 058-272-1483
			FAX 058-278-2562

外国人家族への支援の在り方を考えるための 母子保健担当職員向け研修会を開催します

日本で暮らす外国人が増加していることに伴い、日本で出産・子育てをする外国人が増加し、県内の母子保健の現場においても、外国人家族を支援するケースが増え、言葉や文化の違いによる課題など、対応方法に悩んでいるとの声があります。

こうした状況を受け、このたび、「子育て世代包括支援センター」等の職員を対象に、外国人が抱える課題を知ってもらい、「やさしい日本語」を始めとした言葉の壁の解決方法等について考える機会の一つとして、研修会を開催しますのでお知らせします。

記

1 日時

令和5年8月30日(水) 13:30 ~ 15:30

2 場所

岐阜県庁14階 1407・1408会議室(岐阜市藪田南2-1-1)
※オンライン併用

3 プログラム

(1) 外国人家族への支援の在り方 (13:30 ~ 14:40)

【テーマ及び講師】

①テーマ: 「外国人が抱える課題」

講師: 各務 眞弓(かかむ まゆみ) (NPO法人可児市国際交流協会事務局長)

②テーマ: 「言葉の壁の解決方法」

講師: 安藤 郁美(あんどう いくみ) (岐阜県日本語教育総括コーディネーター)

(2) 外国籍の家族支援に関する意見交換会 (14:40 ~ 15:10)

①市町村からの質問への回答

②グループワーク

(3) こども家庭センター設置に向けた取り組み状況（市町村職員のみ）

（15：15 ～ 15：30）

4 参加対象者

子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点職員、市町村保健師、県保健師、産科医療機関の助産師等

5 その他

取材を希望される方は、開催日前日までに外国人活躍・共生社会推進課までご連絡ください。

○子育て世代包括支援センター

- ・保健師、助産師などの専門知識をもったスタッフが、妊娠、出産、子育てに関する相談に対応する市町村に設置する窓口です。必要に応じて支援プランの策定や、保健、医療、福祉の関係機関との連絡調整も行います。子育て支援と母子保健の事業を一体的に行うことで、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供します。
- ・令和4年4月1日現在で、県内42市町村58箇所に設置。

※令和6年4月1日から、子育て世代包括支援センターは母子保健と児童福祉が一体となった「こども家庭センター」として、妊娠期から子育て期まで一貫した相談対応を行う予定です。

○「やさしい日本語」とは

- ・「やさしい日本語」は平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災で外国人住民に情報が届かなかったという反省をもとに生まれたものです。発災直後の混乱の中でも速く、多くの人に正しく情報を伝えるためには、多言語化に加え外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」での発信が有効であるという考えから、弘前大学社会言語学研究室が中心となって取り組みました。現在は、防災以外の分野でも活用されています。
- ・岐阜県では、令和4年12月に外国人県民人口が62,000人を超え、過去最高となるなど、一定言語の通訳者を配置するだけでは、外国人県民からの日本語での相談に対応しきれないケースが多く発生しています。こうした状況に対応するため、「日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の一環として「やさしい日本語」の普及に取り組んでいます。外国人を受け入れる日本人側の意識醸成を促すことや、子ども、障がい者、高齢者に対する情報伝達においても有効であると考えています。